

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 丸一鋼管株式会社（証券コード:5463）

### 【据置】

長期発行体格付	AA-
格付の見通し	安定的

### ■格付事由

- (1) 国内トップの独立系電縫鋼管メーカー。建設向けを中心に、自動車向けなどにも展開している。鋼管事業に特化した生産体制となっており高い生産効率を有するほか、需要地生産体制の構築により販売面における優位性を確保している。国内外の大手高炉メーカーと安定した取引関係を有し、柔軟な原材料調達が可能なお点も特徴である。また、アジア、米州を中心に海外での業容拡大を図っている。
- (2) 主な需要先である建設、自動車向けを中心に需要は堅調である。原材料の値上がりを受けて営業利益率は低下傾向にあるものの、依然高い水準を維持している。今後も原材料である鋼材価格の上昇が見込まれるが、段階的に販売価格への反映が進む見通しである。海外子会社についても米国 Leavitt 社を中心に業績は改善しつつある。今後も鋼管需要が底堅く推移する見込みであることを勘案すれば、現状程度の利益水準は維持可能とみられる。また、財務基盤は極めて強固である。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 18/3 期経常利益は 212 億円（会社側計画）と前期比 19.1%減益となったもようである。原材料である鋼材価格が上昇した一方、販売価格への反映が遅れていることが減益要因となっている。19/3 期もスプレッド（販売価格と原材料価格との差）の大幅な改善は見込みがたいものの、建設向けを中心とした底堅い需要を背景に 18/3 期並みの利益水準は維持可能とみられる。また、海外事業全体では業績は改善傾向にあるものの、最大の投資先であるベトナム SUNSCO 社については現地における競合の激しさをを受けて苦戦が続いている。同社の業績改善には時間を要する見込みであるが、今後の動向に注目していく。
- (4) 18/3 期第 3 四半期末の自己資本比率は 81.8%と、財務構成は良好な水準にある。また、現預金残高が負債の合計金額を上回っており、財務の安全性は極めて高い。今後も国内設備の更新や海外における生産能力増強に向けた設備投資が計画されているものの、安定したキャッシュフローが見込まれることから、今後も良好な財務構成を維持可能とみられる。

（担当）水川 雅義・近藤 昭啓

### ■格付対象

発行体：丸一鋼管株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2018年4月4日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：湊岡 由典  
主任格付アナリスト：水川 雅義
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「鉄鋼」(2012年3月26日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 丸一鋼管株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル